

次号予告

特集 最先端を目指す若手研究者達

ネットワーク設計問題の最先端	福永拓郎 (京都大学)
多品種流問題に対する幾何学的アプローチ	小市俊悟 (南山大学)
動的ネットワークフロー	神山直之 (中央大学)
数理計画と組合せ的行列理論	垣村尚徳 (東京大学)
基礎技術としての劣モジュラ最適化	永野清仁 (東京大学)

編集後記

●今日、持続可能性は世界経済にとって最も重要なキーワードの一つとなりつつあります。そして、持続可能性を高めるには、広域外部性など、様々なチャレンジングな問題をクリアしなければなりません。柴田氏も言及されていますが、因果関係が比較的特定しやすく定性的に厳しい基準を設定すれば対処可能な猛毒の公害問題から、因果関係の特定も困難で定量的にしか対処しにくい「環境」問題へと、中心的課題がシフトしてきているのです。今月の特集ライフ・サイクル・アセスメント LCA は持続可能性を高めるための代表的な手法の一つであるわけですが、各執筆者にはそれぞれ知的に興味深い側面をクローズアップしていただきました。

●特に私が興味深いと感じたのは中橋氏の提起された問題です。従来の公害問題であれば、サプライ・チェーンの川上の部品や材料の環境負荷は、それら川上の関連企業がそれぞれ対処すれば良い問題であったといえます。しかし、今日の環境問題では環境負荷の「累積」を LCA などを駆使して定量的に論じることが重要なのです。従来、この累積に対処する極めて優れた指標として利潤がありましたが、環境外部経済効果も考慮に入れた性能の良い指標を確立するのは、まさしく今日的課題であるといえるでしょう。

●読者の皆様には、柴田論文におけるテクノロジー・アセスメントの分析のように、環境というテーマに限定されない興味深いメッセージを本特集から読み取っていただけるものと期待します。(小林憲正)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 ((独)建築研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 神山直之 (中央大学), 川田丈浩 (日本電信電話(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 小林憲正 (東京工業大学), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高鳴隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 鳥海重喜 (中央大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 22 年 12 月号 第 55 卷 第 12 号 通巻 600 号

代表者 数 土 文 夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧 本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ